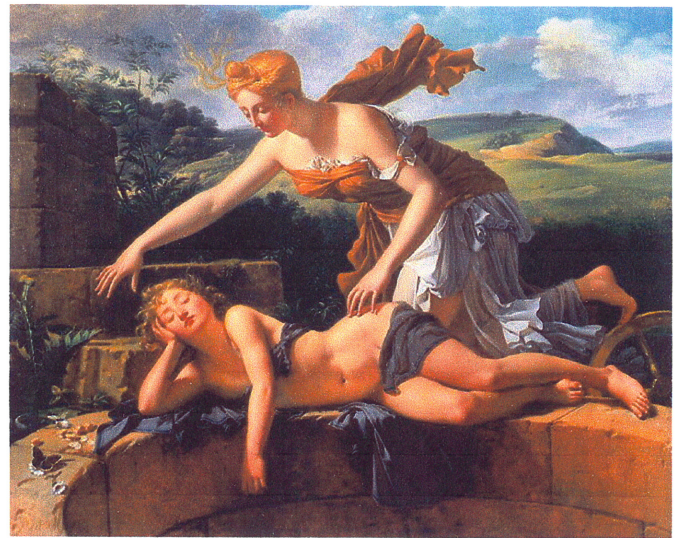


# 健康価値を創造するライフスタイル

— 21世紀の公衆衛生活動のあり方を求めて —

■ 座長 ■ 森本兼襄 (日本学術会議連携会員/生活習慣病対策分科会委員長・日本医学会幹事)  
松澤佑次 (日本学術会議会員/生活習慣病対策分科会副委員長・住友病院院長)

ライフスタイルを決定する環境の重要性について、睡眠、運動、ストレス、栄養など主要生活習慣の形成と変容のダイナミクスとして、その支援実践としての保健看護、健康法体系の新しい質創造などを含めて、包括的に議論し21世紀の心豊かな生き様(QOL)を支える健康価値創造の理論と実践のあり方を探りたい。



1. はじめに 公衆衛生活動における健康価値創造 森本兼襄(日本学術会議連携会員・大阪大院医・環境医学)
2. 幼少期が決めるライフスタイル 児玉浩子(日本学術会議連携会員・帝京大・医・小児科)
3. 病と健康の質 正木治恵(日本学術会議連携会員・千葉大院・看護学・研究科長)
4. 睡眠障害とQuality-of-Life 大川匡子(日本学術会議連携会員・滋賀医大・睡眠学)
5. ストレスと運動の実践的ダイナミクス 下光輝一(日本学術会議連携会員・東京医大・衛生公衆衛生学)
6. 健康栄養実践と公衆衛生活動 徳留信寛(日本学術会議連携会員・健康・栄養研究所・理事長)
7. コメント  
(1)保健看護活動からみたライフスタイルの意味するもの 金川克子(日本学術会議連携会員・神戸市立看護大・学長)  
(2)健康価値創造に向けた立法活動のありかた 梅村 聡(参議院議員)
8. おわりに 環境が決めるライフスタイルの重要性 松澤佑次(日本学術会議会員・住友病院院長)

**日時：平成21年10月23日(金) 13:30~16:00**

**場所：奈良県文化会館** (奈良県奈良市登大路町6-2)  
<http://www4.kcn.ne.jp/~narabun/>

参加ご希望の方は 直接会場におこしください。会場定員は 300名でございます。

■■ 第68回日本公衆衛生学会総会 事務局 ■■

総会事務局

奈良県福祉部健康安全局総務室

学術部会事務局

奈良県立医科大学地域健康医学教室

運営事務局

株式会社コンベンションリンクージ